

2019年10月からスタート！

宗教的儀式(冠婚葬祭)の「拠り所」としてコミュニティの中に「お寺」が存在していますが、現代社会において寺院は「冠婚葬祭」の「葬」の部分が色濃く、「お寺」との関わりは日常生活では縁遠いものになっている人が多いのではないのでしょうか。

今回の講座では、個性溢れる僧侶たちを講師に迎えました。そして、会場は観光寺院ではないいわゆる普通の「お寺」です。講話やワークショップなど、「お寺に集まって、みんなで何かをする」という点に重きを置いて、かつては地域コミュニティの中心拠点であった寺院で、現代社会における寺院のあり方について、再認識してもらえればと思います。

講座① 「木魚念仏と数珠繰り」

林 雅清(浄土宗不退山光月院住職、京都文教大学准教授、博士(文学))

日時：2019年10月19日(土) 14:00-15:30／会場：浄土宗不退山光月院

講座② 「みんなで歌って身も心も健幸に!!」

佐々木 昭道(浄土宗佛國山地蔵院正定寺前住職、草津幼稚園園長、元京都文教学園法人庶務部長)

日時：2019年11月22日(金) 15:00-16:20／会場：浄土宗佛國山地蔵院正定寺

講座③ 「仏教と茶道にまなぶ(茶道体験付き)」

塩竈 義晴(浄土宗塩竈山上徳寺住職、京都文教大学・短期大学教務部教務課職員、裏千家茶道準教授)

日時：2019年12月8日(日) 13:00-15:00／会場：浄土宗塩竈山上徳寺

講座④ 「仏教の教えと人材開発」

村山 孝道(浄土宗紫雲山浄心寺副住職、京都文教大学・短期大学学長企画部教学企画課課長、
大学行政管理学会理事、大学コンソーシアム京都SD研修副委員長)

日時：2020年1月20日(月) 18:00-19:30／会場：浄土宗紫雲山浄心寺

◆ 事前申込制(定員：20～30名 ※各講座ごとに異なります) ◆

2019(令和元)年度 京都文教公開講座

シリーズ 寺子屋

講座① 「木魚念仏と数珠繰り」

【講師】林 雅清

(浄土宗不退山光月院住職、京都文教大学准教授、博士(文学))

【日時】2019年10月19日(土) 14:00-15:30

【会場】浄土宗不退山光月院

(京都市伏見区南尼崎町510-1)

【定員】30名

浄土宗では、よくボクボクと木魚を打ちながら「南無阿弥陀仏(なむあみだぶ)」と念仏を唱えます。しかし、江戸時代には、木魚を打って念仏する木魚念仏は「異端」とされてきました。浄土宗の総本山知恩院から異端とされながらも、信者とともに木魚念仏を広めた下鳥羽法傳寺(ほうでんじ)の不退円説(ふたいえんせつ)上人(1714~1759)、実は当山光月院は、この不退上人によって開山されたお寺なのです。当時「伏見騒動」と呼ばれた近世浄土宗における一大異端事件、いったい何があったのでしょうか。また、どうして「異端」の木魚念仏が今では当たり前に行われているのでしょうか。一方、浄土宗には総本山の知恩院以外に、大本山が複数あります。その一つに、「百萬遍知恩寺」(京都市左京区)という大本山があります。皆で大きな数珠を繰りながら念仏するという「大念珠繰り」(数珠繰り)発祥のお寺です。京都では、地藏盆などで数珠繰りを行う地域も多く残っていますが、どうして数珠を繰りながら念仏するのでしょうか。

本講座では、木魚念仏と数珠繰りの由来と意味を解説しながら、実際に皆さまに木魚念仏と数珠繰りの体験をしていただきますと思っています。



講座② 「みんなで歌って身も心も健幸に!!」

【講師】佐々木 昭道

(浄土宗佛國山地蔵院正定寺前住職、草津幼稚園園長、元京都文教大学学芸学部部長)

【日時】2019年11月22日(金) 15:00-16:20

【会場】浄土宗佛國山地蔵院正定寺

(滋賀県草津市草津3丁目11-39)

【定員】30名

当寺は、文献によると弘治元(1555)年に大火災があり、建物、仏像、諸記録が悉く消滅し、開基の年代、開祖の名前すべてが不明である。現在の住職が第33世であることより、創建は500~600年前かと推察される。また、宗派についても不明であるが本堂に現存する木製の簾の記載によると、安永6(1777)年11月14日に、「念佛道場を開く」とあり、この時より浄土宗に開宗したと思われる。草津は東海道と中山道の分岐点にあたる交通の要所で、道によって形成された典型的な宿場町である。特に大名等が宿泊する施設を本陣と称し、当時依存した二大本陣が当寺のお檀家でも今も当寺の墓地の約6分の1が本陣関係でもある。

以上、草津の歴史と深く関係する古寺であるが、現在は、寺の定例法要以外に、コーラスやお茶・写経・念佛の集い等檀家さん以外の方にもその門戸を開いている。今回はギター坊主の異名を持つ前住職とともに、歌を唄い、少しだけ仏教の話を耳にして、身も心もリフレッシュしてみませんか?



講座③ 「仏教と茶道にまなぶ(茶道体験付き)」

【講師】塩 義晴

(浄土宗塩竈山上徳寺住職、京都文教大学・短期大学教務部教務課職員、裏千家茶道準教授)

【日時】2019年12月8日(日) 13:00-15:00

【会場】浄土宗塩竈山上徳寺

(京都市下京区本塩竈町556)

【定員】20名

仏教は様々な文化に対して影響を与えているが、茶道も例外ではない。その繋がりや思想について解説を行い、現代に生きる文化としての茶道を認識する。さらに、講義を踏まえて実際に点前を行うことで、理論と実践の往還を図る。

当寺は江戸時代の慶長8年(1603年)に徳川家康が側室・阿茶の局と息女・泰譽院の菩提を弔うため、伝誉一阿を開山として創建された。また、光源氏のモデルとされる源融公の別邸といわれ、平安貴族たちが塩焼きや詩歌管弦を楽しんだという「河原院」跡にあたる。天明、元治の大火で焼失するなど度々火災に遭い、現在の本堂は宝暦3年(1753年)に建造された永観堂祖師堂を明治期に移築したものである。境内には「世継地蔵」と呼ばれる地蔵堂があり、この地蔵に祈願すると良い世継が授かるといわれ、子授け・安産・息災祈願の寺院としても人々の信仰を集めている。

講座ではこうした特色についても紹介する。



講座④ 「仏教の教えと人材開発」

【講師】村山 孝道

(浄土宗紫雲山浄心寺副住職、京都文教大学・短期大学学長企画部教学企画課課長、大学行政管理学会理事、大学コンソーシアム京都SD研修副委員長)

【日時】2020年1月20日(月) 19:00-20:30

【会場】浄土宗紫雲山浄心寺

(京都市中京区裏寺町通蛸薬師下る裏寺町606)

【定員】20名

【対象】大学職員、人材育成を担っている、またはこれから担おうと思っている若手のビジネスパーソン

GoogleやAppleをはじめ、グローバルなIT企業を中心にビジネスの世界で仏教のアイデアが活用されはじめています。仏教のアイデアと、現代における人材開発、組織開発にはどのような一致点があるのでしょうか? 大学職員の人材開発を目的とした複数の学協会等で理事等を歴任し、現役大学職員管理職として部下の人材育成を行い、また、現役社会人大学院生としてHRM(Human Resource Management: 人的資源管理)の研究を行っている知見と、寺に生まれ寺に育ち、仏教の教えに接してきた経験を掛け合わせ、仏教の教えと人材開発について話題提供を行います。一方的な講義ではなく、話題をもとに受講者とともに考えるワークショップを行います。



【対象】・お寺や仏教、浄土学に興味・関心のある方
・まちづくり、地域コミュニティに興味・関心のある方

【受講料】1,500円/1講座につき

【注意事項】①各講座とも、内容に関する問い合わせは京都文教大学までお願いします(各寺院への問い合わせはお控えください)。
②各講座とも、会場に本講座参加者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
③突発的法務等により(当日を含む)急遽日程を変更する場合があります。ご了承ください。

【申し込み】事前申込制/20~30名(各講座ごとに異なります)

【申込方法】Web、またはFAXでお申込ください。

※FAXでの申込は、「受講希望講座名」「氏名」「年齢」「住所」「連絡先電話番号(携帯電話が望ましい)」を記入の上、下記連絡先までご送信ください。

※Webでの申込は、各講座の紹介欄にあるQRコードから申込ください。

※申込受付後、申込時に記入された住所へ詳細情報、会場地図、参加費支払い方法等を郵送します。

【申込期間】2019年8月1日~各講座開催日2週間前まで

【問い合わせ先】京都文教大学社会連携部フィールドリサーチオフィス

Tel:0774-25-2630/Fax:0774-25-2822/E-mail:fro@po.kbu.ac.jp

住所:〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80